

常陸大宮市義務教育施設適正配置審議会 開催状況

開催期日	会 議 名	協 議 内 容 等	主 な 意 見 等
令和7年 12月2日(火)	第1回常陸大宮市 義務教育施設適正配置審議会	・委嘱状交付 ・会長及び副会長の選出について ・諮問について ・今後の常陸大宮市義務教育施設適正配置の在り方について ・その他	・児童生徒数の推移をみて、急激な減少に驚きと寂しさがある。 ・学校では小規模校でも個別最適な学びと協働的な学びを工夫して実践している。 ・各地域に1つ学校を残してほしい。 ・地域の枠を広げて考えることも視野に入れる。 ・常陸大宮市の適正規模を探っていきたい。 ・それぞれ意見を踏まえて1番良い方法を考えていきたい。ほか
令和8年 2月4日(水)	第2回常陸大宮市 義務教育施設適正配置審議会	・第1回適正配置審議会における資料等について ・児童生徒数等の推移について (令和8年1月末現在) ・小中学校施設及びスクールバス等の現状について ・学校統合に関するアンケート等について ・その他	・児童生徒数が減ると1校当たりの教職員数も減り、PTAの事務負担も増える。 ・統廃合になった場合、スクールバスの見直しも必要になる。バスの大きさを見直し、コース設定により、長時間乗車にならない工夫が必要。 ・前回の統合に関するアンケートで、児童は順応が早く、保護者は慎重な意見が多かった。今回の審議会でもアンケートをとり、保護者等の実際の声を聞きたい。 ・求められる学校像は時代によって変わる。未来の学校像を描きながらアンケートを作成し、実

			施すること。ほか
令和 8 年 3 月 27 日（金）	第 3 回常陸大宮市 義務教育施設適正配置審議会	・第 2 回適正配置審議会における意見等について ・常陸大宮市の教育の未来を考えるアンケート調査（仮）について ・その他	・人口や出生数が減少し、切羽詰まっている現実をアンケート回答者に分かってほしい。危機感を持って市民の方に考えていただきたい。 ・設問数が多いので順番が重要。設問を精選して答えやすい量や内容を考える必要がある。 ・過去のアンケートで挙がった、大事だと感じた内容が今回は入っていない。アンケートの一貫性をどう捉えていくか。 ・文言を再検討する必要がある。ほか
令和 8 年 7 月 1 日（水）	第 4 回常陸大宮市 義務教育施設適正配置審議会	・審議会経過等について ・常陸大宮市立小中学校のあり方を考えるアンケート調査結果について ・答申に向けた各委員からの意見等について ・今後のスケジュールについて ・その他	・学級数は、2 学級以上が理想だが現実問題として子供の人数が減少している中では無理がある。 ・通学時間は、徒歩、自転車、スクールバスを考えても 30 分以内が理想である。 ・通学時のスクールバスの利用拡充が課題である。 ・子どもたちの人数が減少する中で、学校だけでは運営は厳しくなるので、地域の方々の協力が必要である。 ・統廃合になった場合の跡地利用が課題である。 ・学校を子どもたちの教育の場としての考え方と地域の拠点としての考え方があるが、教育の質

			の向上を考えるべきである。
令和8年 7月31日（金）	第5回常陸大宮市 義務教育施設適正配置審議会	・第4回適正配置審議会意見等について ・答申（案）の原案について ・今後のスケジュールについて ・その他	・今回の目標、指標では何も解決出来ないと思う。一旦強い目標を立ててもよいと思う。 ・子供の減り方が急激であり、20年先までの考えがないと厳しい。この緩い感じでは、また10年ぐらいに同じことになる。 ・教育施設の有効利用のなかで切れ目のない有効活用 of 文言が、すでにそれぞれの地域で閉校になった跡地利用について、地域活性化に役立つような利用になっていないと思う。 ・基本計画は、具体的に何をどのようにいつまでにやるのかがあってこそ意見が言いやすい。 ・アンケート結果を見ると、市民の皆さんは統廃合を含めた再編を望んでいる方が非常に多い。 ・本審議会でも方向性を見出し、統合するにあたっての不安に対しての配慮や良くなる点、また、問題に対する対策などが盛り込まれていない。